

よほしよほ電子化古書籍

『伊賀國村鑑雜型』（e-3204）



原資料 大學共同利用機關法人

人間文化研究機構國文學研究資料館所藏

伊賀國名張郡夏見村深山家文書（31E-23）

解讀 東川吉嗣

編輯・電子化製作出版 有限會社與野書房

『伊賀國村鑑雜型』

目次

表紙	．．．．．	006
山	．．．．．	007
谷	．．．．．	013
野・川	．．．．．	018
池	．．．．．	027
橋・瀧・水	．．．．．	031
林・木	．．．．．	035
田字・畑字	．．．．．	040
名所・古城屋敷跡	．．．．．	046
村小名・土産・系圖由緒	．．．．．	050
神社	．．．．．	054
よぼしよぼ電子書籍案内	．．．．．	060



kagm001.jpg

(原文)

名張郡

夏見村

(31 23)

(村鏡)

(読み)

なばりぐん なつみむら

(意味)

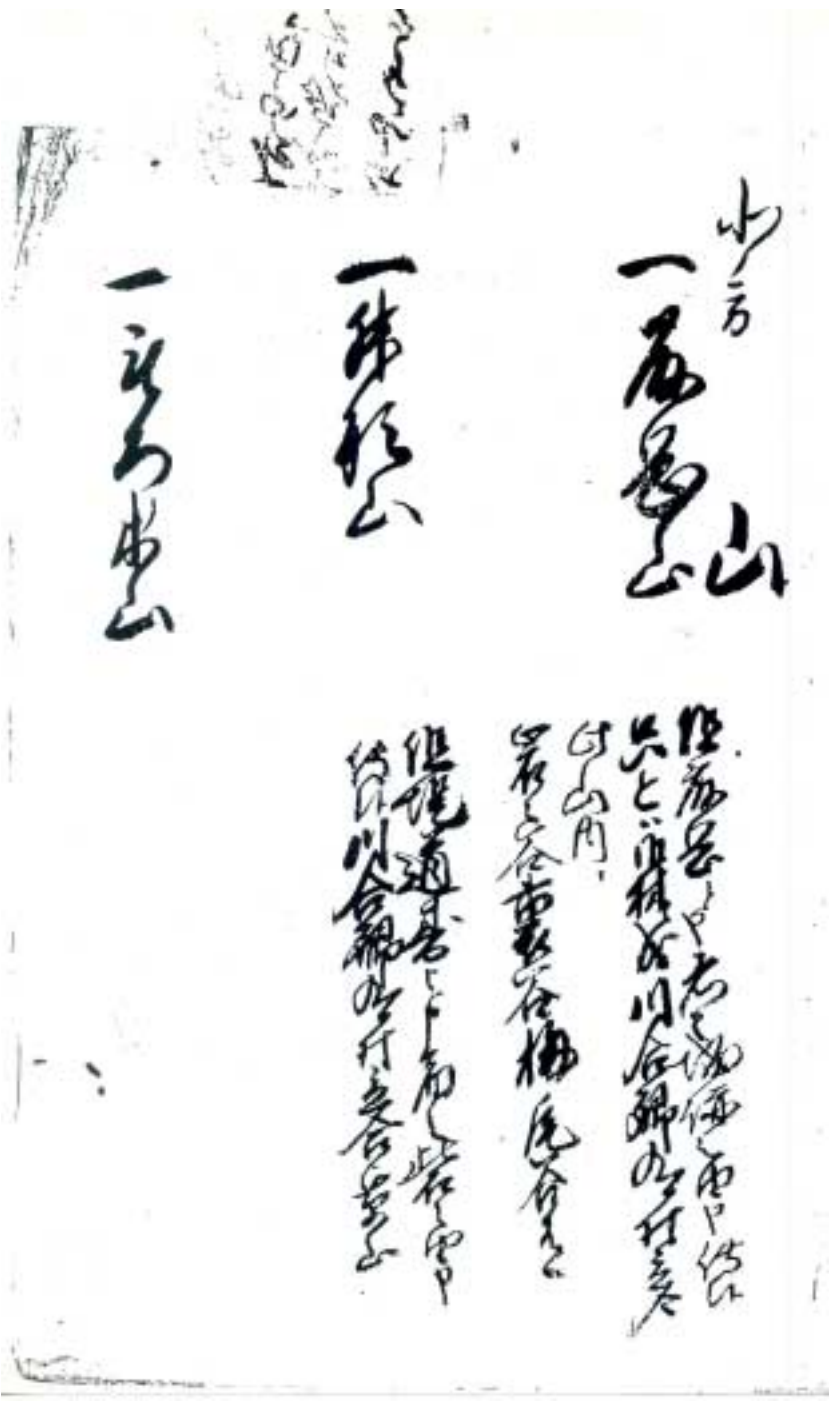
伊賀國名張郡夏見村

(31 23)と(村鏡)はこの原本の収蔵者の整理記號と書き込み。

(参考)

名張郡は伊賀國四郡の一つで、伊賀南部を占める。

伊賀國全域は徳川時代を通して、藤堂家が支配してゐた。夏見村は現在の三重縣名張市夏見。



kagm002.jpg

(原文)

北方 山

一 藤岡山 但藤岡と申者之城跡之由申伝候

只今八御林二成川合郷九ヶ村立合

此山内二

岩之谷裏谷梅尾谷有

一 舛形山 但堤道 (杳か) 与申者之砦之由申

傳候川合郷九ヶ村立合草山

(上部に貼紙あり)

一 斗ろノ木山

(讀み)

北方(きたのかた) 山(やま)

一 藤岡山(ふじおかやま)

ただし、藤岡と申す者の城跡(しろあと)の由(よし)、申し傳へ候(たふら)ふ。

只今は御林(おはやし)に成り、川合郷九箇村、立ち合ひ。

この山内に、岩之谷(いはのたに)、裏谷(うらたに)、梅尾谷(うめおひやま)をたに(に)有り。

一 舛形山(ますがたやま)

ただし、堤(つみ)道(どう) (と)申す者の砦(とり)で(の)由(よし)申し

傳へ候ふ。川合郷九箇村、立ち合ひ草山。

一 斗ろノ木山(とろのきやま)

(意味)

山の部

村の北の方にある山。

一つ。藤岡山〔ふじおかやま〕

この山は藤岡といふ者の城跡〔しろあと〕だと傳へられてゐます。現在は、領主の所有する山林で、川合郷九箇村で協同利用してゐます。

この山域には、岩之谷〔いはのたに〕、裏谷〔うらたに〕、梅尾谷〔うめおひやま〕が在ります。

一つ。舛形山〔ますがたやま〕

この山は堤〔つつみ〕道〔どう〕といふ者の砦〔とりで〕があつたと傳へられてゐます。現在は、川合郷九箇村、協同利用の草山です。

一つ。斗ろノ木山〔とろのきやま〕